

国民健康保険の次期保健事業プランについて

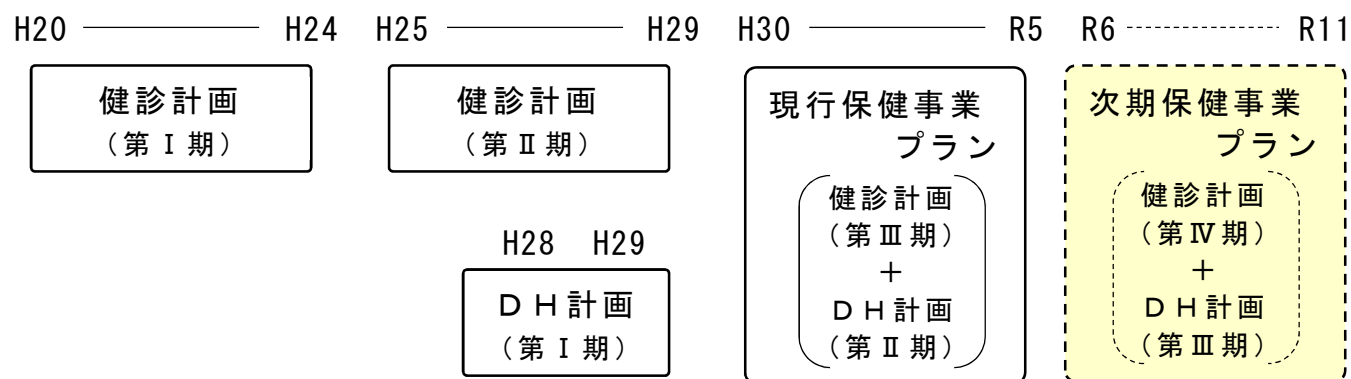
保健事業プランの概要

国の計画策定のフレーム

次の2つの計画を各保険者が策定することとされている。

- 特定健康診査等実施計画・・・**健診計画**
特定健診、特定保健指導の実施計画
- 保健事業実施計画（データヘルス計画）・・・**DH計画**
レセプトや健診結果などのデータを活用した保健事業の実施計画

札幌市における計画策定の経緯



現行保健事業プラン

目標値と実績値

指標	目標値	実績値			
		H30	R1	R2	R3
特定健診受診率	31.0%	22.4%	20.5%	19.0%	18.9%
特定保健指導実施率	23.0%	8.2%	11.4%	9.3%	11.9%
重症化予防対象率	27.9%未満	28.0%	28.4%	32.0%	30.9%

現行保健事業プランの振り返り

データをより丁寧に分析すべき

▼ 計画策定段階

データ分析の深度を深め（例：札幌市だけのデータを分析するのではなく、全国データと比較するなどにより）、札幌市の課題を洗い出し、そこから取組内容を立案すべき（課題と取組内容との間の連動性）

▼ 計画実行段階

PDCA（計画→実行→評価→改善）を機能させ、実施した事業については、適時適切に評価を行った上で、見直すべきものは見直していくべき

事業の優先度をより重視すべき

▼ 計画策定段階・計画実行段階

目標を達成するための又は目標に近づけるための取組を優先的に計画化し、これに人的資源や予算を投下していくべき

そのためには、（例えば国が推奨している、実施が可能であるなどの観点ではなく）優先度を判断するための軸を確立し、その軸に基づいて事業を計画化し、実行に移していくべき

この振り返りから札幌市国保としての「保健事業のコンセプト」を確立

札幌市国保としての「保健事業のコンセプト」

被保険者が、自らの健康状況を把握し、健康を維持・増進するための行動をとることができるよう取組を推進していく。

取組の推進にあたっては、医療費・健診等のデータ分析や費用等を踏まえて事業内容を決定し、これを実施の上、適切な事業評価を行って、被保険者の生活の質（QOL）の維持・向上に効果のある事業を展開していく。

次期保健事業プラン（ねらい・取組の方向性）

ねらい

被保険者の生活の質（QOL）の維持及び向上を図る。

右ページ
参照

取組の方向性

大きくは、**チェック** と **フォロー**

チェック：健診などにより、自らの健康度を確認してもらうこと

取組の例：特定健診受診勧奨
（健康状態不明層に対する健診受診勧奨の重点化など）

フォロー：健診結果やレセプトの内容に応じた適切な支援を行うこと

取組の例：特定保健指導利用勧奨
重症化予防事業
（医療が必要な人を確実に医療につなげる など）
適正服薬推進事業

※ 特定保健指導や重症化予防事業については、現在国において大規模検証実施中。具体的な取組内容は、その結果を受けて検討。

チェック と フォローの具体的な取組内容については、
来年度の運営協議会にて検討いただく予定

= 参考 = 健康状態不明層とは・・・

国保加入者 40～74歳の状況（元年度）

区分		生活習慣病 で通院	生活習慣病 以外で通院	通院なし	合計
健診	受診	12%	6%	2%	20%
	未受診	44%	20%	16%	80%
合計		56%	26%	18%	100%

生活習慣病で医療の管理下

生活習慣病に関する健康状態が不明（36%）

保健事業プランの「ねらい」の変更

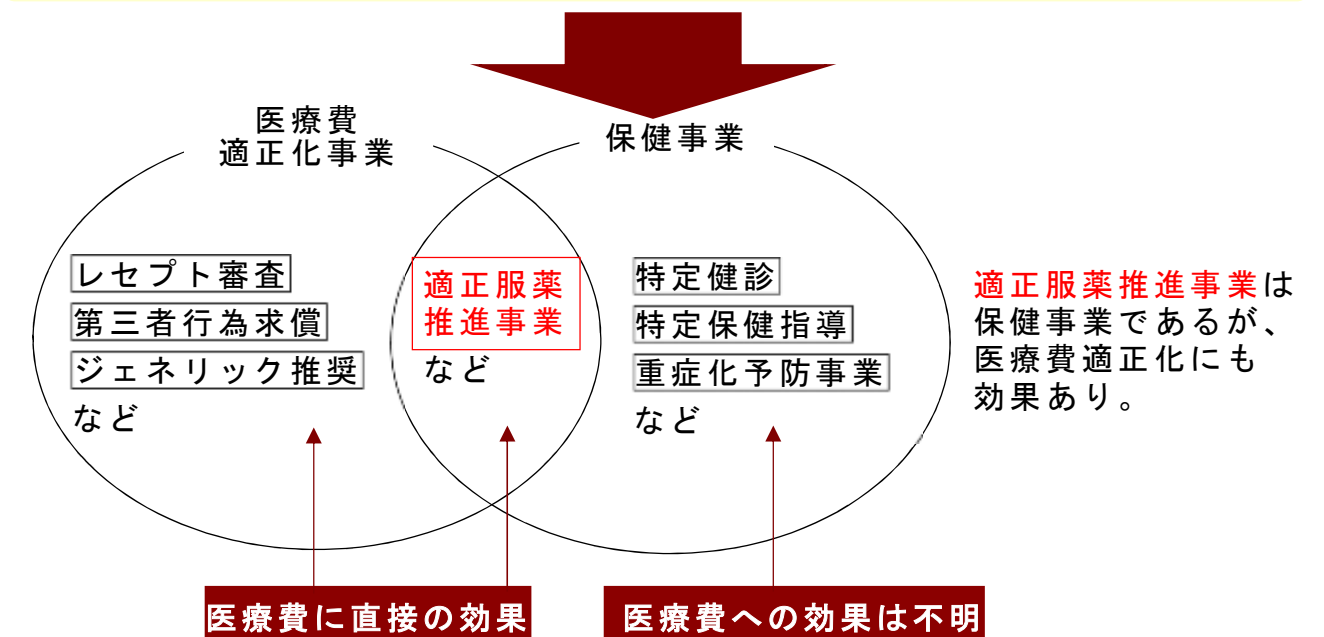
現行保健事業プラン（抜粋）
「被保険者の生活の質（QOL）の維持及び向上、ひいては医療費の適正化に資することを目指してまいります」

保健事業に取り組むことにより、将来的な医療費の適正化につなげていくということを述べたもの。

ただし、現時点では、保健事業の医療費適正化効果については、有識者の間でも種々議論があり、明確なエビデンスは確立されていない。

については、札幌市国保として、医療費適正化事業と保健事業を次のとおり整理

- ・ **医療費適正化事業**：医療費の適正化に直接効果があるもの
- ・ **保健事業**：被保険者の生活の質（QOL）の維持及び向上を図るもの
（その結果、医療費の適正化が図られるかどうかは問わない）



この整理に基づいて、次期保健事業プランの「ねらい」を現行のものから変更することとし、「被保険者の生活の質（QOL）の維持及び向上を図る」とした。

一方、必要な医療が確保されていることが前提ではあるが、医療費の適正化を図っていくことは、保険者にとって重要な責務であり、今後もしっかりと取り組んでいく。